

政策別コスト情報総括表

1. 政策にかかるコスト

(単位:百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳									(参 考) 自己収入
			I 人にかかるコスト (a)			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む。) (b)			III 事業コスト(その他事業コストを含む。) (c)			
				(a)/(A)		(b)/(A)		(c)/(A)				
1.安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること	19,163,349	24.1%	46,069	15.2%	(0.2%)	2,830	13.5%	(0.0%)	19,114,448	24.1%	(99.7%)	8,779,106
2.安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること	89,258	0.1%	11,019	3.6%	(11.6%)	749	3.6%	(0.8%)	77,488	0.1%	(87.5%)	-
3.ディーセントワークの実現に向けて、労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること	986,855	1.2%	46,248	15.2%	(3.8%)	3,503	16.8%	(0.4%)	937,104	1.2%	(95.8%)	1,043,593
4.意欲のあるすべての人が働くことができるよう、労働市場において労働者の職業の安定を図ること	2,016,027	2.5%	124,030	40.8%	(5.9%)	5,251	25.1%	(0.3%)	1,886,745	2.4%	(93.9%)	2,074,100
5.労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること	120,762	0.2%	1,239	0.4%	(1.1%)	233	1.1%	(0.2%)	119,289	0.2%	(98.7%)	-
6.男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること	403,907	0.5%	3,180	1.0%	(0.2%)	457	2.2%	(0.1%)	400,269	0.5%	(99.8%)	9,067
7.ナショナル・ミニマムを保障し、利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること	2,949,448	3.7%	2,788	0.9%	(0.1%)	603	2.9%	(0.0%)	2,946,056	3.7%	(99.9%)	-
8.障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること	1,555,331	2.0%	7,527	2.5%	(0.5%)	759	3.6%	(0.2%)	1,547,044	2.0%	(99.3%)	15
9.高齢者ができる限り自立し、生きがいを持ち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること	51,851,584	65.2%	10,861	3.6%	(0.0%)	622	3.0%	(-0.0%)	51,840,100	65.4%	(100.0%)	40,011,182
10.国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること	21,205	0.0%	6,817	2.2%	(35.5%)	176	0.8%	(7.0%)	14,211	0.0%	(57.6%)	-
11.国民生活の向上に関わる科学技術及び医薬品等の研究開発の振興を図ること	80,886	0.1%	10,073	3.3%	(7.2%)	429	2.1%	(0.7%)	70,383	0.1%	(92.1%)	-
12.国民生活の利便性の向上に関わるIT化を推進すること	42,773	0.1%	826	0.3%	(11.8%)	156	0.7%	(2.3%)	41,791	0.1%	(85.9%)	-
官房経費等	271,441	0.4%	33,386	11.0%	(6.0%)	5,130	24.5%	(94.0%)	232,925	0.3%	(0.0%)	-
合 計	79,552,832	100.0%	304,069	100.0%	(0.4%)	20,904	100.0%	(0.6%)	79,227,858	100.0%	(99.0%)	

2. 参考情報(各政策に配分した官房経費等の額)

(単位:百万円)

区 分	コスト計 (A)=(a)+(b)+(c)		内 訳								
			I 人にかかるコスト (a)			II 物にかかるコスト(庁舎等を含む。) (b)			III 事業コスト(その他事業コストを含む。) (c)		
				(a)/(A)		(b)/(A)		(c)/(A)			
1.安心・信頼してかかれる医療の確保と国民の健康づくりを推進すること	63,517	23.4%	7,812	23.4%	(11.7%)	1,200	23.4%	(7.1%)	54,504	23.4%	(81.2%)
2.安心・快適な生活環境づくりを衛生的観点から推進すること	20,358	7.5%	2,503	7.5%	(11.7%)	384	7.5%	(7.1%)	17,469	7.5%	(81.2%)
3.ディーセントワークの実現に向けて、労働者が安心して快適に働くことができる環境を整備すること	40,444	14.9%	4,974	14.9%	(11.7%)	764	14.9%	(7.1%)	34,705	14.9%	(81.2%)
4.意欲のあるすべての人が働くことができるよう、労働市場において労働者の職業の安定を図ること	15,200	5.6%	1,869	5.6%	(11.7%)	287	5.6%	(7.1%)	13,043	5.6%	(81.2%)
5.労働者の職業能力の開発及び向上を図るとともに、その能力を十分に発揮できるような環境整備をすること	8,143	3.0%	1,001	3.0%	(11.7%)	153	3.0%	(7.1%)	6,987	3.0%	(81.2%)
6.男女がともに能力を発揮し、安心して子どもを産み育てることなどを可能にする社会づくりを推進すること	12,486	4.6%	1,535	4.6%	(11.7%)	235	4.6%	(7.1%)	10,714	4.6%	(81.2%)
7.ナショナル・ミニマムを保障し、利用者の視点に立った質の高い福祉サービスの提供等を図ること	20,901	7.7%	2,570	7.7%	(11.7%)	395	7.7%	(7.1%)	17,935	7.7%	(81.2%)
8.障害のある人も障害のない人も地域でともに生活し、活動する社会づくりを推進すること	14,114	5.2%	1,736	5.2%	(11.7%)	266	5.2%	(7.1%)	12,112	5.2%	(81.2%)
9.高齢者ができる限り自立し、生きがいをもち、安心して暮らせる社会づくりを推進すること	24,158	8.9%	2,971	8.9%	(11.7%)	456	8.9%	(7.1%)	20,730	8.9%	(81.2%)
10.国際化時代にふさわしい厚生労働行政を推進すること	43,159	15.9%	5,308	15.9%	(11.7%)	815	15.9%	(7.1%)	37,035	15.9%	(81.2%)
11.国民生活の向上に関わる科学技術及び医薬品等の研究開発の振興を図ること	3,528	1.3%	434	1.3%	(11.7%)	66	1.3%	(7.1%)	3,028	1.3%	(81.2%)
12.国民生活の利便性の向上に関わるIT化を推進すること	5,428	2.0%	667	2.0%	(11.7%)	102	2.0%	(7.1%)	4,658	2.0%	(81.2%)
合 計	271,441	100.0%	33,386	100.0%		5,130	100.0%		232,925	100.0%	